

香川県の子どもの教科書問題に興味関心を抱いて下さる全ての皆様へ

* 「香川の子どもと教科書ネット」通信

第 68 回会議報告 (2024年3月10日・日)

今もって日本はアメリカの属国なんだな。

日本の若者達が戦場で戦えるように育てたいと、第一次安倍内閣で、「教育基本法」に「愛国心」を素早く入れて改悪した。

さらに第二次安倍内閣で、もり・かけ・さくら・かわい・の犯罪行為のオンパレードに、日本中の国民が躍らされた。その時、多くの日本国民は知らされていなかったが、可愛がってくれた爺ちゃんの岸信介元首相時代から、韓国のいかさま宗教団体、旧統一教会に騙されて協力体制を続けていたが故に、日本の多くの子ども達が苦しめられ、その中の一人の青年の自家製ピストルで安倍元首相は殺された。

そもそも安倍晋三は、刑務所に入れるべき犯罪者なのに、菅義偉前首相、岸田文雄首相は、多くの国民の反対を押し切って「国葬」で祭り上げ、さらに、「生前中の功績を讃えるのだ」と言って、犯罪者安倍元首相に、最高位の勲章である「大勲位菊花章頸飾(だいくんいきっかしょうけいしよく)」を授与させた。

この勲章は、天皇が国事行為の儀式の時につけるもので、重たくて、天皇自身難儀をしているそうだが、一般国民で、これを受章したのは、吉田茂、佐藤栄作、中曽根康弘、各元総理大臣に続き、4人目だそうだ。

そもそも同じ人間なのに、差別助長の為に天皇に勲章を与え、さらに生前中顕示欲の強い、いわくつき総理大臣のみに与えるこの制度の時代錯誤に驚く。

安倍首相は沢山の犯罪行為に対して、しっかりと刑務所に入れて、犯した多くの大罪に対して、国民が納得のいく謝罪をさせるべきだった。無念でたまらない。

しかし「国葬」、「勲章制度」自体が間違っているという自民党政権への怒りも、安倍首相が死んだ2022年7月から約1年半がすぎて、薄らぎつつあるそんな今、「政治資金問題」がドカーンと公開、安倍晋三の犯罪が、さらに毎日、あばかれている。

安倍元首相が生前中、「地球儀を俯瞰する外交」と称して、昭恵夫人と手をつなぎ飛行機のタラップを登って行ったその後ろに、いつもちんまりと控えていた萩生田光一、西村康稔を代表にして、安倍派議員達が、今、その報道のトップを飾っている。

萩生田光一は、売ったパーティー券の収入金の札束を、議員控え室の机の引き出しにバサーとつつこんで鍵をかけ、必要な時に、萩生田自身が開けて使っていたそうだ。

我々市民は、大根1本買うにも、細かく消費税を計算されて徴収されている。その感性の落差に、萩生田光一自身もさることながら、このような政治家を応援し、投票する国民一人一人に、この実態を、しっかりと伝えていかねばいけない。

【 一 】 モラロジー道徳教育財団

千葉県麗澤大学内にあるモラロジー団体は、いかにも民主的、平和的思想の集団であるかのごとくごまかした文章を必死になって発信し続けているが、その行間に隠されている彼らの本音は、天皇を、我々市民とはかけ離れた一段、格の上の神様に近い存在に奉っている。

この団体の道徳サロン、講座、講演会等には、八木秀次、西岡力、高橋史朗、中山理、所 功、野口芳宏、櫻井よしこ等、いわゆる右派思想を持つ人物の主張でうまっている。

さらに、廣池幹堂(もとたか)理事長は、2022年(令和4年)春の叙勲、「旭日中綬章(きよくじつちゅうじゅしょう)」を受章している日本会議代表委員でもある。

文科省も、香川県教育委員会も、このような右翼団体の活動を、「後援」し、「学校教育」「社会教育」の中に導入している事に、羞恥心、後ろめたさを微塵も感じていない。これも昭和天皇によって、戦後天皇制が残されてしまったが故に広まってしまった弊害なのだと思う。この姿を放置するわけにはいかない。

【二】「はだしのゲン」

「ひろしま平和ノート」から教材「はだしのゲン」を削除させたのは、広島県教育委員会の方針というよりも、「天皇制」安泰の力にすがりついている安倍自民党政権を引きついでいる岸田自民党政権の下にいる文科省の圧力に忖度している松井一実広島市長の権力によるものだと、次第に見えてきた。

自民党政権が続くかぎり、「昭和天皇」に対して、激しく批判、攻撃している、「はだしのげん」を、学校教育の中に放置するわけにはいかないのだろう。

松井一実広島市長は、「天皇制 永続にとっては、「はだしのゲン」の中に書かれた昭和天皇に向けられた(元・げん)の激しい怒りの台詞が、耐えがたい程に邪魔な存と言うその本音を必死に隠しているのだと思う。

「はだしのゲン」の(2巻)(3巻)に続き、(4巻)～(7巻)には、昭和天皇への怒りがどのように書き込まれてあるのだろうか？引き続き、読み返してみた。

【4巻】

(2P)

「昭和20年8月30日 連合軍司令官マッカーサー元帥 厚木飛行場へ進駐」「敗戦後の日本は、すべてこのマッカーサー元帥の命令によってうごかされた…天皇が変わって日本の新しい権威者として…」

「もうすぐアメリカが日本に上陸してくるそうじゃ」「この広島にもか」「ほうよ」「なにしろ日本は無条件降伏で負けた国じゃけえ アメリカになにをされてももんくがいえんということじゃ」

(282P)

石子順

「その日、ぼくらは勤労奉仕で、戦車壕をほっていた。大型爆弾が広島で爆発した事実を知った時は、被害の恐ろしさも状況も解らず、従って自分らの被害という実感が伝わらなかった。翌日のソ連の宣戦と、満州領内に侵入してきた事実のほうに、すぐに目が向いてしまった。」「戦争による断末魔に苦しみながら、なお国民の犠牲のうゑに居座って、戦争をつづけようと、指導者は、戦争にしがみついていたのだ。一日も早くポツダム宣言を受け入れていたなら、広島、長崎の被害は受けなかったはずだ。」

「ゲンの行動は腕白である。腕白でないと時代の激動に対応できないのだ。」

【5巻】

(39P)

広島の小中学校教室

教師「明日は、天皇陛下さまがこの広島にきてくださることになり、広島県民にとって大変よろこばしい日だ。みんな日の丸の旗を振って、ご歓迎するため、旗を作ってくることを忘れるな。わかったな。」

児童「はい」

ゲン「何がよろこばしいのだ。わたらの先生はばかじゃのう」「天皇は戦争を起こし、日本中の街やこの広島や長崎をピカで焼き野原にし、わたらのとうちゃんや、数え切れない人を殺し、いまでも苦しめている戦争の責任者じゃないか。なんでありがたがって歓迎しないといけんのじゃ おかしいわい」

「日本人は、戦争の反省がたりんのう」「わしゃ、先生をみそこなつたわい」「わしゃ、旗なんかつくって歓迎せんぞ。あしたは、学校さぼつたわい。ばかばかしい。」「だけど天皇はこのこのこの広島へやってこれるのう」「いまでも多くの死体が埋まっているこの広島へ」「わしだったらはずかしくて、苦しくて、とても人前に出られんわい。」

「あ～～はらがへつたのう、何か、食うものはないかのう」「天皇はお詫びに米でもわしにもってきやがれ、ば一か」

(132P)

元川小学校朝礼「いわおとな～りて～こけの～むすまで～～」児童斉唱

校長「ゴホン、それでは、二十三年の元旦を迎え、天皇陛下に新年のおよろこびのあいさつをおこなう」「一同東向
け東」

児童・ 一斉に東に向く

校長「天皇陛下のいらっしゃる皇居に向かって最敬礼～～」

ゲン「な、なんじゃ」「これじゃ、戦争中と同じじゃ、アホか」

担任教師「これ、おまえは、なんで最敬礼をしないんだ」

ゲン「わしゃいやじゃ」「もう日本は戦争に負けて新しい憲法ができて、軍隊は一切持たず」「平和な国づくりをす
るんだと先生は教えてくれたんじゃないか。」

教師「それがどうした」

ゲン「わしらを戦争でピカでさんざんひどい目にあわした戦争責任者の天皇をなんでいつまでもわしらにおしつ
けるんじゃ」

教師「お おまえはなんちゅうバチあたりなことをいうんじゃ」「このばかたれっ」ゴツン

教師「な、なんだその目は」

ゲン「わしゃ 先生はきらいじゃ」「戦争の反省をせん大人はきらいじゃ」

教師「こ こいつ」

ゲン「天は人のうえに人をつくらず人の下に人をつくらず」・・・(繰り返す)

教師「全く頑固なやつじゃ」「まったく困ったやつがわしの組にいるわい」

学校から出てきたゲンを、友達が追いかけて、もらった餅を渡したが、ゲンは投げ捨てる。

ゲン「こんなモチいらんわい。」

友達「な、何をするんじゃ。ばかたれ。」

ゲン「ばかはおまえじゃ」「クソ森 戦争を起こしてわしらをいまも苦しめているやつら
をもうのさばらしたらいいけんじゃ わすれるな。」

【 7 巻 】

(28P)

ゲンの友達の年男の伯父の家の前

伯父「年男、おじさんがわかった。許してくれ～～かんべんしてくれ～～たのむ～～たのむ～～」「おじさんが
おまえの財産をとったのも、おまえにつらくあたったのも、国に裏切られたからじゃ」「わしらは、日本国の繁
栄と日本人のすべてのためになると信じてどんなに苦しくても必死で歯をくいしばって日本の長い 15 年間
の戦争に協力して、自分の青春もすべてを犠牲にして戦ってきたんじゃ」「神州不滅(しんしゅうふめつ)の大日
本帝国は神様の天皇陛下が守ってくださるから日本は絶対に戦争には負けないと信じて戦ってきたんじゃ」
「ところがあれよあれよと言うまに」「日本は焼け野原にされて」「広島、長崎は ピカドンであつというまに消
えてしまい何百万人の日本人が死んで日本は戦争に負けてしもうた」

「いままで日本を守る神様だった天皇陛下は、あつという間に人間様に変身して、わしらにたえがたきをたえ、
忍びがたきをしのべと知らん顔じゃ」「わしゃ ナンのためにすべてを犠牲にして 必死で国のためにたたか
ってきたんじゃ」「わしゃ だまされたと気がついた時は、くやしゅうて くやしゅうて」「それ以来権力者のやつ
の言うことは絶対に信じるもんか 人間は信じるもんかときめたんじゃ」「信じられるものは、自分と金や財
産だけと決めたんじゃ」「だからおまえがどうなろうと 自分の財産をふやすことだけに熱中したんじゃ」
「年男うらむなら、わしをだまして戦争を起こした奴らをうらんでくれ～～」「わしの心を変えたやつらを」「ど
うかわしを殺さないでくれ～わしゃ 戦争でなくした青春をこれからとりもどしたいんじゃ」「まだまだ死にと
うないわい たのむ たのむ」